

令和3年度

校長室だより6月号 No.3

宝達志水町立押水第一小学校 R3.6.28

今年度、本校では目指す児童像を「考える 助け合う 思いやる子の育成」とし、それを実現するための教育目標を「自立と責任そして感動感謝」と設定しました。それは、今年の10月5日（火）に開催する道徳の公開研究発表会を念頭において少し変更いたしました。近隣の小中学校から道徳教育に携わっていらっしゃる先生方に来校していただき、本校の道徳科の授業を見ていただきながら、研鑽を深めて頂こうと企画しています。

これより、新しい教育目標についてシリーズでご説明いたします。まずは「自立とは」についてです。



一般的に「自立」とは生活の中で「自分のことは自分でできる」状況になったことを指しています。具体的に身の回りのこととは、朝、一人で起きる、寝具を片付ける、洗面をする、学校行く準備をする、時間を決めて学習、運動、睡眠、余暇を過ごす、などがあります。つまり、生活で必要なことを自分自身で自己決定し行動に移すことです。これらのことをできるだけ低学年のうちにできるようにさせたいと思っています。

私事ではありますが、私にも2人の子どもがいて、十数年前、小学校低学年の時代を共に過ごしました。下の娘が1年生、2年生の時、丁度そのころに仕事の都合で家を空けていました。残念ながら我が家では、十分な自立に向けての躰があまり出来ていない状況でした。そんななかでも、父母が仕事で不在な時は両親に代わって祖母がその役割を担ってくれました。外から帰ったら手を洗ってうがいをすることは成人して数年たった今でも習慣として定着しています。子どもたちの祖母は2月に他界しましたが、親としてとても感謝しています。

自立に向けての各家庭での取り組み方は、千差万別で、その家々で違っていいのですが、お父さん、お母さんをはじめ、ご家族でよく話し合っ、お子さんの自立に向けての取り組みを進めて頂ければ幸いです。

学校では、授業に至るまでの準備、授業の取り組み方、手洗いうがい、時間を考えて行動する等の「共同生活に必要な自立」に係ることを指導していきます。地域では、これまでと同様、見守り活動やPTA活動の場を活用し、登下校の時やそれぞれの町会で過ごすときに必要なこと、例えば、交通ルールのことや公共施設を使うにあたっての決まりごと等を伝えて頂ければ助かります。

各ご家庭と学校、そして地域が連携して、地域の宝であります押水第一小学校の子どもたちを育てていきませんか。何卒ご協力をお願いします。

道徳教育推進事業について

10月5日に向けて着々と準備を進めています。6月23日には、2年生、4年生の授業研究を行いました。2年生は「友だち」の在り方を問う授業で、4年生は日本の伝統文化のよさを感じる授業でした。以下、少し具体的に紹介いたします。2年生の授業を例にして記述しますが、どの学年も以下のような道徳だよりを月に一度発行します。

どうか各ご家庭で、おうちの方々の実体験を交えつつ、道徳だよりのことを食卓の話題にしていだければ幸いです。子どもたちの道徳性の育成は、学校とご家庭が連携しながら進めていくと効果的であると言われております。その意味でも是非ご協力ください。

2年生の授業について（道徳だよりの引用）

★お話のあらすじと内容

ぼくとマナブとヒデトシ。仲良しの男の子3人の話です。3人は、近所のかみなりじいさんの家の木に登って、カブトムシをとろうとします。かみなりじいさんに怒鳴られて、あわてて逃げ出しますが、ヒデトシは転んでつかまってしまいます。ぼくとマナブは、いろいろ考えたあげく、「ヒデトシをたすけにいこうか。」「ともだちやもん、ぼくら。」と決心します。かみなりじいさんに謝ったぼくとマナブは、「おまえたち、よくもどってきた。」と許してもらい、3人で仲良く帰るのでした。ヒデトシのことを考えるぼくとマナブの気持ちを追っていく中で、友だちを思う心を育てる教材です。

★子どもたちの授業のふりかえり

- ・今までは自分がたすけてもらっていたので、つぎは自分がだれかをたすけたい。
- ・友だちがころんだときたすけることができなかったので、これからはたすけたい。
- ・友だちがころんでいたら、すぐにほけんしつにつれて行きたい。
- ・今までは、けんかをしていたけど、これからはけんかをあまりしないようにしたい。
- ・たすけあうのは、とてもだいじだと思った。たすけあうクラスになりたい。

★家庭で話し合っしてほしいこと

低学年の子どもは、どうしても自分中心の行動をとってしまう傾向にあります。しかし、友だちの大切さや感謝に気づくこともできるようになる時期でもあります。特に身近にいる友だちと仲良く活動し助け合うことが大切です。

お子さんに具体的に友だちのためにとった行動で、友情が深まったことや友だちが増えたことなどをたずねて頂き、ご家庭でも友だちとの信頼関係や友情を育むことの大切さを話題にして頂ければ幸いです。よろしく申し上げます。

6月の出来事

ホームページからの引用

6月1日（火）

3年生があいさつ運動をしました。玄関前に横1列に並んで、通っていく人一人ひとりに「おはようございます」のあいさつで呼びかけました。中には、恥ずかしそうに小さな声でやっと返してくれる人もいましたが、ほとんどの人が気持ちよく「おはようございます」と返してくれました。



特にあいさつの仕方が特によかった1年生の千葉さん、6年生の金子さんを3年生の架谷さんが、給食後、ランチルームで紹介してくれました。これ以降、本校では挨拶名人の紹介を給食後に行うようになりました。



6月2日（水）

東京オリンピックの聖火リレーに使用されたトーチが本校に届きました。

本校の学校評議員の野村清志さんが聖火ランナーをされた関係で、学校に実際に使われたトーチを持ってこられました。

それを全校児童に見せたところ、とても喜んでくれました。

学校長が野村さんに代わって校内をまわり実物を見せました。



6年生の教室では、クラス全員が手でトーチを触り、感触を確かめていました。いい思い出になりました。野村さんに感謝です。

6月3日（木）

この日は、1年生のあいさつ当番でした。6人で精いっぱい大きな声を出して挨拶の呼びかけをしました。わずか6人でも、おおきな声を出して頑張っていました。その声につられて先輩たちも元気に応えていました。



3年生に習って、給食の時にランチルームで、気持ちのいい挨拶をしてくれた人を1年生が紹介していました。



紹介されたのは、3人でした。よい挨拶の秘訣ができていました。秘訣とは、はっきりとした声で、笑顔で、先に挨拶の3点です。

1年生のよいお手本になりました。次は、もっとたくさんのおいさつ名人が登場するといいですね。

6月24日（木）

本年度の紫陽花は、とてもきれいに咲きました。色とりどりの紫陽花が24日現在でも見事に咲いています。

そんな中、今年度もあじさい集会が実施されました。その模様は、後日、町のケーブルテレビで放映されます。1年生、2年生が今年もいつもお世話いただいている思いやり隊のボランティアの皆さんを招待して音読や歌を披露してのおもてなしをしました。以下、その様子です。



(←写真)

ボランティアの皆さんと、本校の紫陽花街道を一緒に歩いています。今年の紫陽花は、とてもきれいに咲きました。



(←写真) 音読や歌を披露してのおもてなしをしています。今年の1、2